

帯広の森 植樹の様子



田園環境モデル都市

おびひろ

帯広市の概要

1. 位置

大雪山系や日高山脈に囲まれた広大な十勝平野中央部に位置

2. 面積

618.94 km² (耕地36%、森林42%、市街化区域7%)

3. 人口

約17万人 (十勝管内36万人) 道内6番目の人口規模

4. 気候

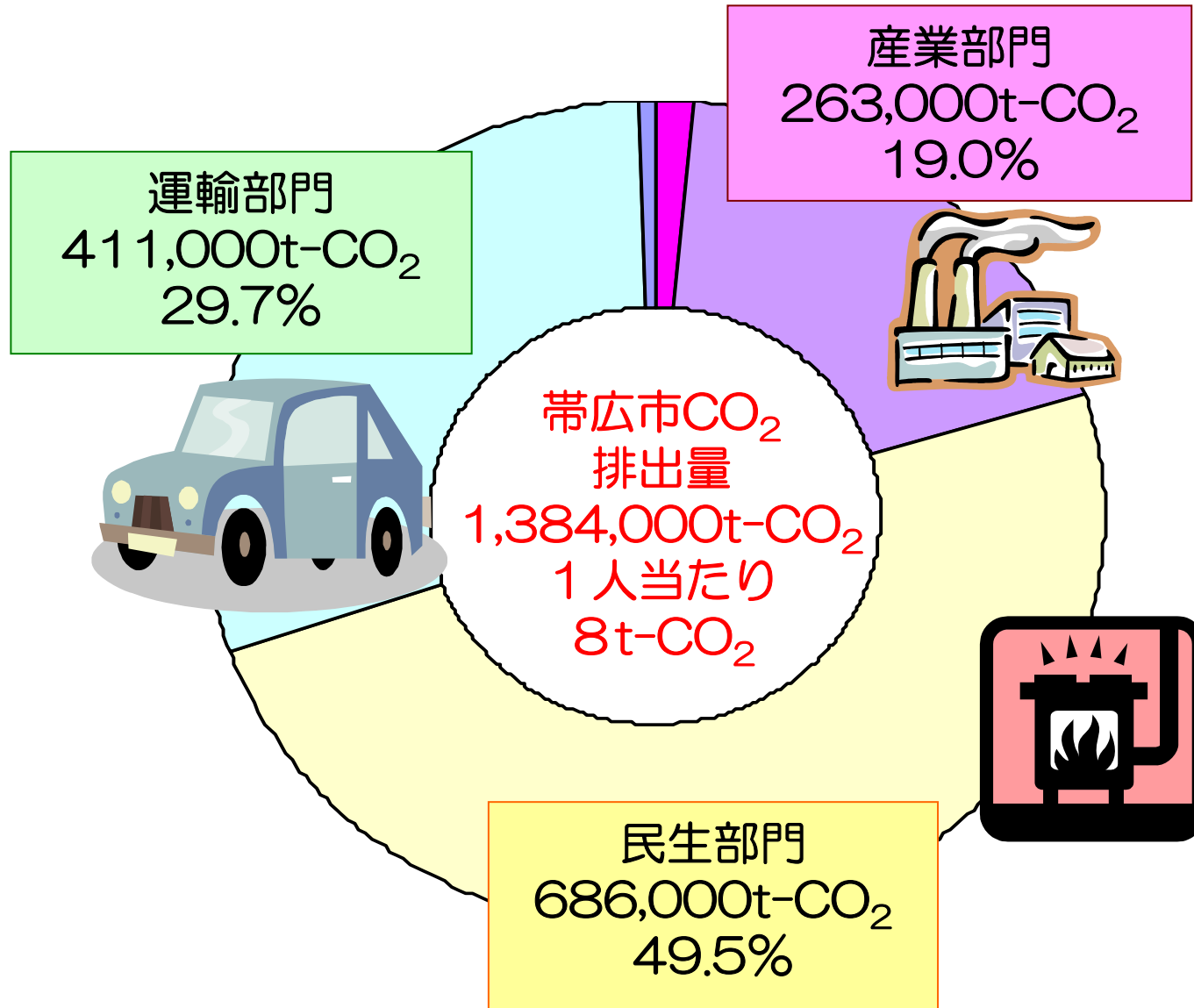
大陸性気候 降水量が少なく晴天日数の多さは日本有数

5. 産業

基幹産業は農業 十勝食料自給率1,100%

→ 国内 (40%) の27.5倍、北海道 (200%) の5.5倍

CO₂排出特性



環境モデル都市としての取組

取組の視点・方向性

① 住・緑・まちづくり

② おびひろ発 農・食

③ 創資源・創エネ

④ 快適・賑わうまち

⑤ エコな暮らし

目標

二酸化炭素排出量の削減

(2000年度を基準値として)

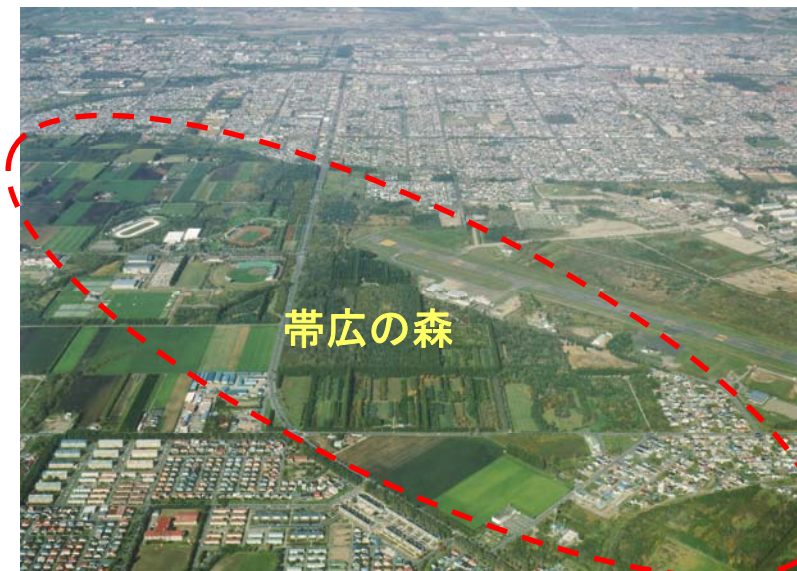
① 2030年までに、30%削減
1,384,000t-CO₂→947,400t-CO₂

② 2050年までに、50%削減
1,384,000t-CO₂→692,000t-CO₂

①住・緑・まちづくり

市民参加の森づくり

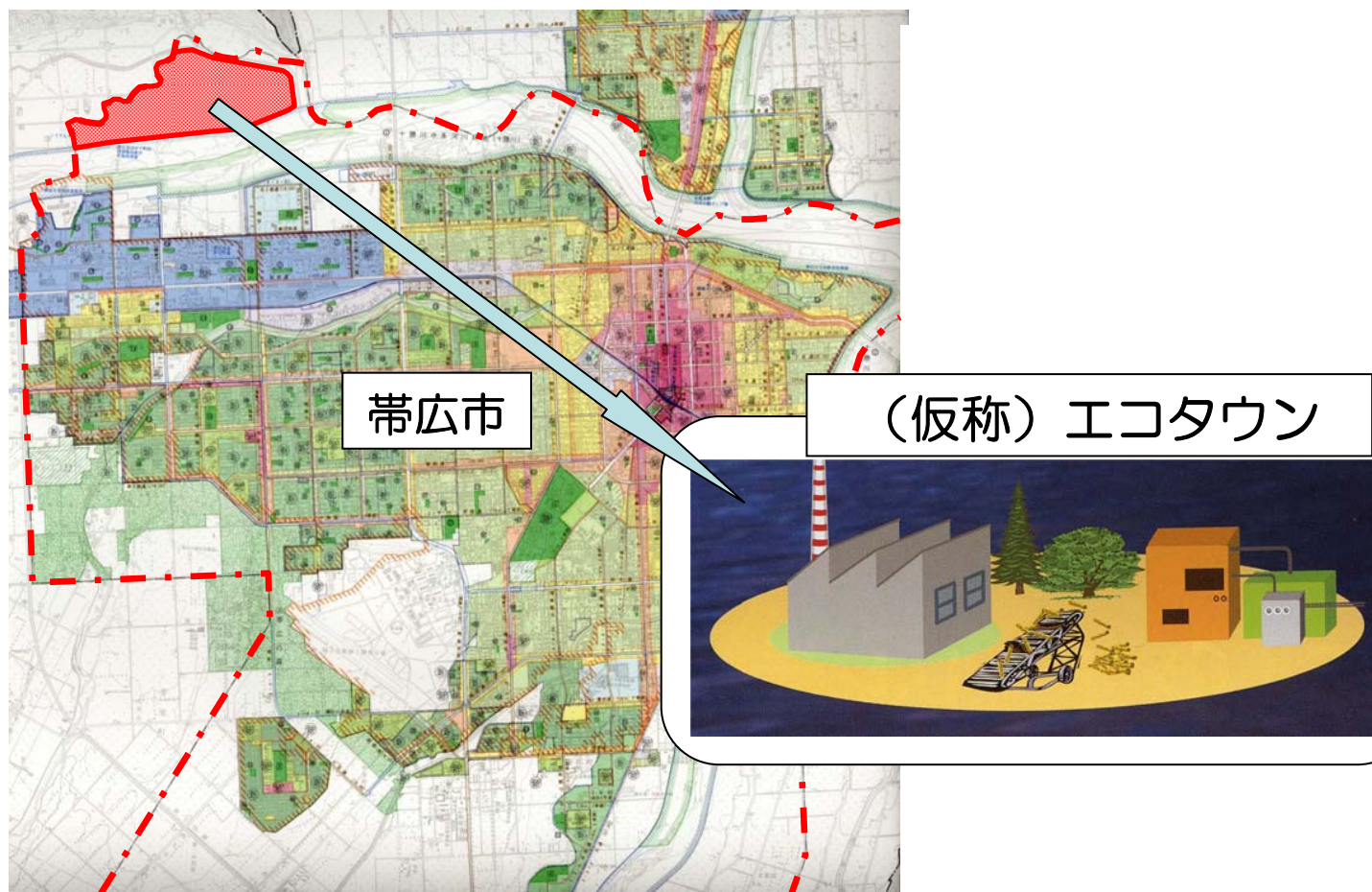
- 市民のシンボル「帯広の森」の育成・活用
 - ・植樹・育樹による森づくり、間伐による樹木密度の管理、市民ボランティアによる森づくり活動
 - ・（仮称）帯広の森市民活動センターの建設・運営（環境教育等）
 - ・木質バイオマスの利活用促進



①住・緑・まちづくり

(仮称) エコタウンの造成

- 環境リサイクル施設の集積、木質バイオマス関連施設や新エネルギー施設等の立地誘導



②おびひろ発 農・食

低炭素型の農畜産業の推進

- 不（省）耕起栽培の普及、促進
 - ・耕起（掘り起こし）を省き、作業機械の燃料消費を削減するとともに、土壌中への炭素貯留を促進。
- 適切な圃場管理の促進
 - ・耕畜連携による良質堆肥の供給と化学肥料の削減、土壌分析等の精密農業による圃場管理



③創資源・創エネ

バイオマス資源等の活用

●豊富なバイオマス資源の活用

- ・ 灯油代替燃料として、豆がら・牛ふん堆肥・木質からペレットを生産
- ・ 食品加工残さや選果残さ等を家畜飼料として活用
- ・ 廃てんぷら油からバイオディーゼル燃料（BDF）を精製



●クリーンエネルギーの導入

- ・ バイオエタノールやバイオディーゼル燃料（BDF）、圧縮天然ガス（CNG）による自動車やバスの運行
- ・ 暖房用燃料を灯油から天然ガス、液化石油ガス（LPG）へ転換
- ・ 太陽光発電システムの導入拡大及び公共施設への率先導入



④快適・賑わうまち

まちなかの賑わい再生

- おびひろまち育てプランの推進と中心市街地活性化の具現化
 - ・人口増を背景とした拡大型の都市計画から、蓄積された社会基盤を有効活用する「まち育て」への転換



⑤エコな暮らし

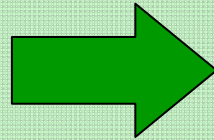
全市民運動の展開

- ・環境家計簿の普及、マイバッグ持参によるレジ袋の削減、マイ箸やマイボトル持参運動、木質ペレットストーブの普及等



今後の課題点

課題点



- ・技術革新と低コスト化
- ・民生部門での削減